

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロンDEつち工法・こて		
◇前処理	無機系下地		
◇使用材料	下塗	つちプライマー	15 kg/缶
	上塗1	ボンフロンDEつちコテ塗用主材(ベース)	20 kg/缶
	上塗2	ボンフロンDEつちコテ塗用主材粗目	20 kg/缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法
前処理	①コンクリート素地の段差、ジャンカ、巣穴、コーナー欠損等の凹部は樹脂モルタルにて補修して、全面を平滑にする。 ②コンクリート素地の凸部は、サンダー処理で平滑にする。 ③人口骨材(軽量骨材)を使用したコンクリートは、必ず全面を外部用樹脂モルタルで処理する。 ④ALCの場合は、表面補強と目止めのため、必ずポリマーセメント系調整材で処理する。 ⑤劣化の進んだセメント系素地には、事前にボンカチオンプライマーを塗布する。 ⑥躯体素地並びにセメント系下地調整材の含水率は10%以下であることを確認する。 ⑦躯体素地並びにセメント系下地調整材の含水率は、ケツ社製HI-520水分計を使用し、人口軽量骨材コンクリートのレンジで測定し含水率が10%以下であることを確認する。					
1	下塗	つちプライマー	清水 0 ~ 15	0.12 ~ 0.15	1	2h以上 刷毛 ローラー スプレー
2	上塗1	ボンフロンDEつちコテ塗用主材(ベース)	清水 2 ~ 2.5	1.0 ~ 1.25	1	6h以上 3日以内 金ゴテ
3	^{注2)} 上塗2	ボンフロンDEつちコテ塗用主材粗目	清水 2 ~ 2.5	2.3 ~ 2.9	1	追っかけ 金ゴテ
	^{注3)} パターン 付け	①上塗を塗布して追っかけで表面を金ゴテの尻部分を使って、無方向にパターンを描く。 ②全体のバランスを考えて、上下・左右の個々のパターンが重なるように描く。				金ゴテ
	^{注3)} ヘッドカット	①パターンを描いた後、速やかに柔らかい薄手の金ゴテを用い軽く無方向に押さえて仕上げる。 ②コーナー部は、切りつけ・面引きで軽く押さえる。この箇所の処理により全体の仕上がりが左右するので注意する。				金ゴテ
合 計						

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率 (%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 上塗は材料が乾燥する前に次の工程のパターン付けとヘッドカットを行うため、施工する面積の配分には注

注3) 塗継ぎは、面や目地等の箇所を利用し塗継ぎムラをださないようにする。
 足場毎の塗継ぎはムラとなる。
 複数人の作業の場合は、事前にテスト塗装を行い個々のパターンが合うようにする。
 任意のパターン付けも可能です。